

- 問1 第一次世界大戦中の1917年、レーニンが指導者となり、世界で初めて労働者や農民を主体とする社会主義の政府が樹立された出来事を何といひますか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 名誉革命 2. 清教徒革命 3. ロシア革命 4. フランス革命
- 問2 第一次世界大戦の発生にともない、日本経済は「大戦景気」と呼ばれる未曾有の好景気を迎えました。当時の貿易額の推移を確認すると、輸出額が急増し、輸入額を大きく上回る貿易黒字を記録しています。このような好景気が起こった背景として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国の生産活動が戦争によって停止したため、日本からの輸出が急増し、特に造船業などが急速に発展したから。
2. 政府がデフレ政策を実施したことで、円の価値が高まり、海外から安く原材料を輸入できるようになったから。
3. 日本がドイツとの戦争に勝利し、多額の賠償金を得たことで、国内の公共事業や産業振興に充てられたから。
4. ロシア革命の影響により、北方の領土から安価な天然資源が安定して供給されるようになったから。
- 問3 1918年の第一次世界大戦終結から1922年のソ連成立に至るまでの期間、世界では民主主義的な制度の確立が進みました。この時期のドイツにおける動向として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 工場法を制定し、世界で初めて工場労働者の労働時間に制限を設けた。
2. 男女平等の普通選挙権を認めるとともに、労働者の団結権などの社会権を保障する憲法を制定した。
3. サンフランシスコ平和条約を締結し、国際社会への復帰と主権の回復を果たした。
4. ビスマルクが社会主義者鎮圧法を制定する一方で、世界初の社会保険制度を整備した。
- 問4 明治時代後期から大正時代にかけての日本の対外関係について、古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 韓国併合 → ベルサイユ条約の締結 → 中国への二十一か条の要求
2. ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 韓国併合 → 中国への二十一か条の要求 → ベルサイユ条約の締結
3. ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 中国への二十一か条の要求 → 韓国併合 → ベルサイユ条約の締結
4. 韓国併合 → ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 中国への二十一か条の要求 → ベルサイユ条約の締結
- 問5 大正時代の社会についてまとめた学習発表において、「大正デモクラシー」の理論的支柱となった思想を説明することになりました。主権の所在がどこにあるかを問わず、政治の目的は民衆の幸福（利福）にあり、政策の決定は民衆の意向に従うべきであるとする、この政治思想の名称として正しいものを答えてください。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 社会主義 2. 天皇機関説 3. 民本主義 4. 自由民権運動
- 問6 吉野作造が提唱した「民本主義」が、当時の日本において広く受け入れられ、大正デモクラシーを推進する原動力となった背景として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦後の不況を打破するために、強力なリーダーシップによる独裁政治を肯定したから
2. 天皇を国の最高機関と見なし、議会の権限を天皇の権限よりも上位に置くことを主張したから
3. 私有財産を否定し、労働者が主導する国家を建設することで民衆の幸福を実現しようとしたから
4. 天皇主権の憲法との衝突を避けながら、民衆の意見を政治に反映させる理論を構築したから
- 問7 第一次世界大戦後の1921年にアメリカで開催された、海軍の主力艦の保有比率を制限するなど、国際的な軍備縮小（軍縮）を目指した会議を何といひますか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. サンフランシスコ平和会議 2. ワシントン会議 3. ポツダム会議 4. パリ講和会議
- 問8 1914年の第一次世界大戦開始から1917年のロシア革命に至るまでの期間において、日本が中国に対して行った外交行動の内容として正しいものはどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 中国におけるすべての不平等条約を撤廃し、日本が持つ租借地を無償で返還することを約束した
2. 日露戦争の講和条約に基づき、樺太の北緯50度以南を割譲させる代わりに大陸から撤退した
3. 第一次世界大戦を終結させるための仲介役として、中国政府にドイツとの和平交渉を提案した
4. 山東半島にあるドイツの権益を引き継ぐことや、南満洲での権益期限の延長などを認めさせた
- 問9 1918年に米騒動が発生した際、当時の藩閥内閣に代わって原敬による内閣が誕生した歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
1. 治安維持法を制定して社会主義勢力を抑え込むために、強力なリーダーシップを持つ政党が求められたため
2. 第一次世界大戦の最中に、連合国から日本の政治制度を民主化するよう圧力を受けたため
3. 大規模な民衆暴動により、国民の意思を反映しやすい政党政治によって社会の安定を図る必要が生じたため
4. 大正天皇が直接、立憲政友会の党員だけで内閣を作るよう強い命令を出したため
- 問10 第一次世界大戦の講和条約であるベルサイユ条約において、敗戦国となったドイツに対して課された内容の説明として最も適切なものはどれですか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
1. 全ての植民地を放棄させ、軍備を厳しく制限した上で、巨額の賠償金を課した。
2. 北緯50度以南の樺太の割譲を認めさせ、沿海州の漁業権を与えた。
3. 朝鮮の独立を認めさせるとともに、台湾や遼東半島を譲渡させた。
4. 国際連合への加盟を条件に、多額の経済援助を行うことを約束した。
- 問11 第一次世界大戦後、アメリカの大統領ウィルソンが提唱した「民族自決」の考え方は、アジア諸国の民族運動に大きな影響を与えました。1919年、日本の植民地支配下にあった朝鮮において、ソウル（京城）での独立宣言をきっかけに発生し、その後朝鮮全土へと広がった大規模な独立運動の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 三・一独立運動 2. 辛亥革命 3. 五・四運動 4. 義和団事件
- 問12 1918年に成立した原敬内閣は、日本の政治史において「本格的な政党内閣」と呼ばれ、画期的な出来事とされています。その内容として最も適切な説明を選んでください。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 自由民権運動の激化を受けて、明治天皇が国会の開設を約束した直後に結成された最初の内閣である。
2. 日中戦争の長期化に対応するため、すべての政党を解散させて国家総動員法を成立させた。
3. 第1次護憲運動によって桂太郎内閣が退陣した後、貴族院の支持を受けて成立した超然内閣である。
4. 衆議院の第一党の党首が首相となり、陸軍・海軍・外務大臣以外の大臣を所属政党の国会議員で構成した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ロシア革命	第一次世界大戦が長期化する中で、ロシア国内では食料不足や戦争への不満から革命が起こりました。レーニン率いるボリシェヴィキが権力を握り、世界初の社会主義政府を樹立しました。これは後のソビエト社会主義共和国連邦の成立につながります。
問2	答え 1 ヨーロッパ諸国の生産活動が戦争によって停止したため、日本からの輸出が急増し、特に造船業などが急速に発展したから。	第一次世界大戦が始まると、戦場となったヨーロッパの列強諸国は物資の生産や輸出を停止せざるを得なくなりました。これにより、アジア市場などでの日本製品の需要が高まったほか、世界的な船舶不足を背景に造船業が飛躍的に発展しました。この結果、日本は莫大な利益を上げ、それまでの債務国から債権国へと転換しました。
問3	答え 2 男女平等の普通選挙権を認めるとともに、労働者の団結権などの社会権を保障する憲法を制定した。	ドイツでは大戦後の1919年にワイマール憲法が制定されました。この憲法は、当時20歳以上の男女に選挙権を認める非常に民主的な内容であり、生存権や労働者の権利といった「社会権」を規定したことが最大の特徴です。選択肢にある工場法やビスマルクの政策は19世紀の出来事であり、サンフランシスコ平和条約は第二次世界大戦後の出来事です。
問4	答え 2 ポーツマス条約の締結と日比谷焼打ち事件 → 韓国併合 → 中国への二十一か条の要求 → ベルサイユ条約の締結	日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の締結（1905年）に際し、賠償金が得られなかったことへの不満から日比谷焼打ち事件が発生しました。その後、1910年に韓国併合が行われて朝鮮総督府が設置されました。第一次世界大戦中の1915年には、日本が中国での権益拡大を狙って二十一か条の要求を出し、大戦後の1919年にパリ講和会議を経てベルサイユ条約が締結されました。
問5	答え 3 民本主義	大正時代、東京帝国大学教授の吉野作造が提唱した思想です。当時の日本は大日本帝国憲法のもとで天皇主権とされていましたが、主権の所在そのものを争点にせず、政治の運用において民衆の意向を尊重することを説きました。これが普通選挙の実現や政党政治を求める動きの理論的な裏付けとなりました。
問6	答え 4 天皇主権の憲法との衝突を避けながら、民衆の意見を政治に反映させる理論を構築したから	当時の大日本帝国憲法では「天皇が統治権を総攬（そうらん）する」と定められていたため、民衆が主権を持つという「民主主義（Democracy）」の概念は受け入れられにくい状況にありました。吉野作造は「主権の所在」ではなく「政治の目的と運用」に注目し、主権者が誰でもあっても民意を尊重すべきだとする「民本主義」を唱えることで、憲法体制の枠内で民主的な改革を求める動きを正当化しました。
問7	答え 2 ワシントン会議	第一次世界大戦の終結後、過熱した軍備拡張競争による再戦を防ぐためにアメリカの提唱で開かれた会議です。この会議では日本・アメリカ・イギリスなどの主力艦の保有比率が定められたほか、東アジアや太平洋の現状維持についても話し合われ、当時の国際協調を象徴する動きとなりました。
問8	答え 4 山東半島にあるドイツの権益を引き継ぐことや、南満洲での権益期限の延長などを認めさせた	日本は日英同盟を理由に第一次世界大戦に参戦し、ドイツの拠点であった中国の山東半島を占領しました。その後の1915年、山東半島の権益継承や、南満洲・東部内蒙古における日本の権益拡大、さらに中国政府へ日本人顧問を置くことなどを盛り込んだ「二十一か条の要求」を突きつけ、その多くを認めさせました。これは中国の主権を侵害するものとして、後に激しい反日運動（五・四運動など）を招く要因となりました。
問9	答え 3 大規模な民衆暴動により、国民の意思を反映しやすい政党政治によって社会の安定を図る必要が生じたため	シベリア出兵を見越した米の買い占めなどから発生した米騒動は、全国規模の暴動へと発展しました。これまでの特権階級（藩閥）による政治では民衆の不満を抑えることが困難になり、国民の支持を背景に持つ政権によって事態を収拾しようとする動きが強まったことが、原敬内閣誕生の大きな要因です。
問10	答え 1 全ての植民地を放棄させ、軍備を厳しく制限した上で、巨額の賠償金を課した。	ベルサイユ条約はドイツに対して非常に厳しい条件を突きつけました。軍備制限では徴兵制の廃止や空軍の保有禁止が命じられ、経済面では当時のドイツの支払い能力を遥かに超える巨額の賠償金が設定されました。また、海外に持っていた植民地はすべて没収され、戦勝国であるイギリスやフランス、日本などによって委任統治されることとなりました。
問11	答え 1 三・一独立運動	第一次世界大戦終結後のパリ講和会議において、各民族が自らの政治的運命を決定すべきであるという「民族自決」の原則が示されたことが、植民地支配下にあった人々に希望を与えました。朝鮮では1919年3月1日に独立を求めるデモが始まり、これを受けて日本は武力による抑圧的な「武断統治」から、教育や文化に一定の配慮を見せる「文化政治」へと統治方針を転換させることになりました。
問12	答え 4 衆議院の第一党の党首が首相となり、陸軍・海軍・外務大臣以外の大臣を所属政党の国会議員で構成した。	1918年の米騒動による寺内正毅内閣の総辞職後、立憲政友会の総裁であった原敬が首相に指名されました。それまでの内閣と異なり、閣僚の大部分を衆議院に議席を持つ政党員で固めたことから、日本で初めての実質的な政党内閣が誕生したと評価されています。これにより、大正デモクラシーの流れの中で政党政治が定着する大きな一歩となりました。